

政策会議 議事概要

- 1 日 時 令和2年1月29日(水) 14時00分～14時30分
- 2 場 所 第一会議室
- 3 出席者 市長、両副市長、総務局長、総合政策局長、財政局長、総務局次長、
総合政策部長及び所管局長、所管部長
- 4 議 題 図書館ビジョン2040の策定について【方針決定】
(教育委員会生涯学習部)

[審議事項]

- ・ 地域における「知の拠点」として、果たすべき役割を追求し、多くの市民に様々な「知の体験」を提供することを通じて、心豊かな市民生活の実現と本市の持続可能な発展に貢献するため、図書館ビジョン2040(案)を別紙のとおり決定する。

教育次長、生涯学習部長

～資料に沿って説明～

(質問・意見等)

- 財政局長 自動貸出機はそれなりの投資になるため、施設窓口の人員配置も含め、どの部分にどれだけ投資するのか、また、その効果額はどの程度になるかをしっかり整理してほしい。
- 市長 みずほハスの花図書館では、自動貸出機が何割程度使われているか。
- 生涯学習部長 利用者の6割が使っている。一個一個置かなくても複数冊同時に処理できる。
- 市長 5年後10年後は社会全体がそうなっているので、使う人、適応する人は増えているはず。
- 総合政策部長 ICチップは全ての図書につけているか。
- 生涯学習部長 まだつけていないため、先行して投資が必要。
- 総合政策局長 ICチップがないと自動貸出機は使えないのか。
- 生涯学習部長 情報を読み取るために必要。一冊数十円の投資になる。
- 市長 一館ずつという訳にはいかないため、どこかのタイミングで一気にやるのか。
- 生涯学習部長 現在は中央図書館と中央図書館の分館となっているみずほハスの花図書館でのみ対応しており、相互貸し出しがあった場合にはその都度ICチップを貼っている。徐々に冊数は増えてきているが、割的にはまだまだ少ない。
- 総合政策局長 保存配送センターができるまでに、全ての図書にICチップを貼っていないと循環システムができない。
- 市長 タグの部分だけは先行投資になるか。
- 生涯学習部長 そうなる。除籍もしっかり行い、無駄な投資をしないようにする。
- 総合政策部長 歴史的文書を保存することになるが、歴史的公文書の保存や、さらにその先の公文

書館といった構想は持っているか。

生涯学習部長 公文書の保存は教育委員会の範疇ではない。ただ、公文書の中でも、例えば大正時代の予算書など、そうした物は残していくべき遺産になると考えている。

総合政策部長 将来的にはデジタルアーカイブ化の中に含めるイメージか。

生涯学習部長 先々あり得るかもしれないが、当面需要のないものまでやることは想定していない。

市長 そこは県文書館や、専門性がある場合、県の図書館の仕事という感じがする。

生涯学習部長 総務的な観点から文書館が必要かどうか検討の余地があると思うが、さらに古い資料は歴史的資料として残していく可能性はある。当面は千葉市史や各地域で市民の方々が調べた文書、書類などをアーカイブ化していきたい。

総合政策部長 プラットフォームの話について、中央図書館の閉架書庫を撤去して開催するイメージだと思うが、成果を出すのはかなり難しいと思う。民間のコワーキングスペースにしても、本当に魅力がなければうまくいかない。何か惹かせるものがないと、プラットフォームとして機能させていくのはかなり難しいと思うが、何か仕掛けは考えているか。

生涯学習部長 ある一定のテーマをこちらから提示し、興味がある方に集まってもらう。ミーティングを定期的で開催することで、徐々に流れができると考えているが、最初は厳しいと思う。

総合政策局長 利用しやすい開館日や開館時間を探ったとあるが、みずほハスの花図書では自動貸出機を入れて人員に余裕ができ、月曜日を開館するために人員を回している。開館時間を増やせばそこにソースを充てなければいけない。全体像としてどう考えているか。

生涯学習部長 長くするだけではなく、短くすることもあり得る。最適化とは、必ずしもサービスの拡大だけではないため、最適化と表現している。ただ、夜間は自習の需要があるため、例えば、一部オープンということも可能性としてはあるかもしれない。

総合政策局長 財政的なメリットと一定の利用者サービスの提供という両方の観点から、今後具体的に検討していくということか。

中央図書館長 みずほハスの花図書館は、他の図書館が休館となっている月曜日に開館し、他の図書館よりも年間 30 日以上開館日を増やしており、財政効果額としては、窓口業務委託及び自動貸出機導入効果で約 500 万円となっている。

総務局長 今まで図書館に興味がなかった方や図書館を使っていない方にもこの計画を周知すべき。先ほど話に出た歴史的な文書については、総務局で文書の仕分けをしている。閲覧したい人がいるのではないかと、という資料もあるため、図書館で保管するか、文書として保管するか打合せをしたい。もう一点、「未来へつなぐ知の発掘などに関する市民協力体制の構築」とある。以前、花見川の歴史を調べるために花見川の地区図書館に行ったが、見事に資料が揃っていた。庁内の各局が図書館や図書というものをうまく使えば、市民行政や観光行政などに活かすことができるのではないかと。歴史を知ることによって違う感覚が得られるため、庁内の各局が図書館と連携できるような仕組みができればいい。

鈴木副市長 このビジョンにおいて、20 年後に目指すべき姿、図書館のあるべき姿を示しているということはわかったが、これから策定する基本計画上の 10 年の中で、ビジョン

の中の考えをどこまでどう反映できるか、しっかり整理する必要がある。理想的な絵ではあるが、具体的な落とし込みをしていく中で、どのように表現できるか、しっかり押さえていかなければいけない。ハード面では、公共施設等総合管理計画における老朽化対策等の内容と、このビジョンで謳われている項目について整合性が取れていることを説明できるようにしておく必要がある。老朽化対策として、若葉図書館などが挙げられているが、総合管理計画の内容と齟齬はないか。

生涯学習部長

資産経営課と調整していく。土気図書室、白旗分館、若葉図書館については話が出ている。

市長

ビジョンをしっかり理解してもらう必要がある。丁寧に説明をしてもらいたい。方針決定する。

— 結果 —

決定事項のとおり、方針決定する。

5 照会先

- ・会議の運営等について

総合政策局総合政策部政策調整課

TEL 043 (245) 5057

- ・議題について

教育委員会生涯学習部中央図書館管理課

TEL 043 (287) 4081